

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1.理念に基づく運営				
1.理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らし暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地元保育園・小中学生の慰問受入れ、地域老人会への参加、地域行事への参加(道路清掃、お祭り)等を通して地域密着、交流を促進し、「思いやり安らぎ 連帯」の理念実現に努力している。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の朝礼及び月1回の定例会で理念の共有をすると共に、日々の情報交換によって、気付いた点や改善事項を出し合い、サービス向上、意識向上を目指している。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	概ね2月に1度の運営推進会議を活用して、地域の情報、グループホームの情報を交換し、相互理解を深める活動を続けている。		
2.地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域行事に積極的に参加すると同時に、施設内遊歩道に散歩に来られる近隣の方々へ声掛けや挨拶の励行を行なっている。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域自治会に正式に加入しており、地域活動への参加は地域住民と同じように養成されている。各種行事に参加する際には、グループホームのPRや施設への理解、ご協力をいただけるように活動している。		

グループホーム舞風台 さくら

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域自治会の敬老会や夏祭りに参加し、融合を目指すと共に、地域のご要望には極力沿えるように努力している。</p>		<p>今後も参加行事を増やすと共に、介護の勉強会等介護に関する情報提供を行なっていきたい。</p>
3.理念を实践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>指摘事項をよく理解すると共に、改善向上に努力している。</p>		<p>職員の知識・技術教育に励み、常に問題意識を持って仕事をする職員を育成していきたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域の方々の関心、疑問を理解し、介護保険上のグループホームの性格を説明、理解してもらっている。また、会議のなかでの意見を事業所内で検討し、改善向上に繋げている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者らと運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>広川町の依頼による「中国姉妹都市からの訪問団」を毎年受け入れており、こうした活動を通して、施設機能を地域に還元するための方法を町と相談している。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>重要事項説明書に「成年後見制度」等の活用を明記し、入所時の説明に生かしている。</p>		<p>職員が入居者の権利擁護に関する制度について学べる機会を増やすことを目指して、今年度は「介護職員の倫理性」の向上を目指す目標を掲げている。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>老健と一体となった「身体拘束廃止委員会」での学習を生かしながら、定例会での指導や日常業務のなかで注意等を行っている。</p>		<p>今後さらに勉強会を増やすと同時に、利用者の身体チェックや、利用者、ご家族の相談に応じられるようにしていく。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだし解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分な説明をした後、ご家族でご検討いただき、不安や疑問がある場合は、ご連絡いただき、再度ご説明するようにしている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>施設内に相談窓口を設けている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>入居者の暮らしぶり等に関しては、面会の際や「グループホーム便り」によってお知らせしている。緊急の場合には、直接電話にて対応している。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>介護支援専門員が窓口となり、苦情処理のマニュアルを作成して。普段から職員間の連絡、ご家族とのコミュニケーションを大事にしている。また、契約時に相談窓口の説明を行い、施設内にも掲示している。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>全員参加の定例会を毎月1回開催し、活発な意見交換を行い、日常業務に反映させている。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>必要な時間帯に必要な数の職員を配置できるよう、利用者の状況に応じて勤務の調整を行なっている。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は、新規採用職員が徐々に入居者と馴染みになれる様に他職員との組み合わせを考え、日常のケアに当たってもらうと共に、職務の上達具合を見ながら、夜間帯の勤務に携われるよう配慮している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援			
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している。</p>	<p>医療法人全体として、グループホームとして基本方針としての「人権の尊重」を機会あるごとに確認し、実施している。</p>	
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>法人全体での運営基本方針説明会、グループホーム定例会、老健との運営推進会議、朝礼等を通じて人権教育、啓発に努めている。</p>	
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内外の研修を実施し、育成に努めている。介護マニュアル、業務フローシートを作成し、学習会を実施している。</p>	<p>全体的な研修と併せて、介護の知識、技術の各職員個別のレベルアップのために個別指導も行なっていく。</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>広域連合のグループホーム部会、福岡県高齢者グループホーム協議会に加入。事例発表や他ホームの視察等で意見交換、交流を行なっている。</p>	
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>夏祭り・打上げ会、忘年会等を実施すると共に、話し合いができる雰囲気作りを心がけている。</p>	
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている。</p>	<p>老健と協同で、改善向上委員会を開催しており、現在は資格取得委員会の運営に参加している。また、研修、資格取得試験等のための勤務調整も行なっている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり受けとめる努力をしている</p>	<p>利用前に自宅や入院先を訪問し、面談を行い、心身の状況等の把握に努めている。また、日常においての入居者の目線に合わせた会話をを行い、状況把握に努めている。</p>	
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族と密接な連絡を取り合い、ご希望等を聴取し、できるだけ意向に沿える様に努力している。</p>	
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」ま ず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人の状態、ご家族の状況の把握に努めると共に、職員や居宅ケアマネ等と連携を取ることで対応している。</p>	
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用前にはなるべく施設見学を促し、徐々に施設や、職員、他の利用者と馴染んで行ける様心がけると共に、ご家族との相談、職員間の連絡、伝達がスムーズに行なえる様に努めている。</p>	
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者と一緒に調理をすること等で職員が教えてもらうことも多く、一緒に過ごす中で、介護を受けるだけという立場におかない様にしている。</p>	

グループホーム舞風台 さくら

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	施設内の行事にも一緒に参加していただけるように促し、入居者の状態を密に伝え、相談し合い、ご家族、職員共に入居者を支えて行けるよう努力している。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している	ご本人の思い、ご家族の思いを理解する努力と、その思いに少しでも添えるようこまごま行動をすることで家族関係の改善に寄与できればと考えている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている	外出・外泊等の促しを行い、馴染みの関係が途切れないように努力している。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	閉じこもりがちな生活にならない様に気をつけ、職員も間に入りながら、入居者同士がよい関係で関わり合える様に努力している。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も何らかの支援が出来るようであれば、すぐに対応できるようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の生活歴、職歴、基本情報、心身の状況等のアセスメントに基づき、入居者の希望、意向の把握に努めている。</p>	
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご本人、ご家族に聴き取りを行い、これまでの暮らしが出来るだけ継続できるよう努めている。</p>	
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>1日の過ごし方、心身の状態等、細かく記録し、状態の把握を行い、申し送りにて職員間の情報共有に勤めている。</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人、ご家族の意見を尊重し、心身の状況のアセスメントで抽出した課題を基に介護計画を作成している。</p>	
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ケアプラン実行表を作成し、毎月モニタリングを行い、ご本人、ご家族と話し合いながら新たな計画を作成している。</p>	<p>定期的な介護計画の見直しを行なっていきたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録に残し、ご本人やご家族と相談しながら日々のケア、介護計画の見直しに生かして行きたい。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	現在満床のため、ショートステイの受入れは行なっていない。ご家族の要望があれば、宿泊や、終末期の泊り込みも受けている。		
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署への徘徊搜索の協力依頼を行なっている。民生委員の集団訪問や保育園、小中学校の施設見学、慰問を受け入れている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	生活保護受給者の面談の際には、広川町の保護課の方と情報交換を行なっている。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	併設している老健、居宅支援センターの支援相談員、ケアマネと連絡をとり、協働への動きを模索している。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望により、他科受診を行なっている。協力医療機関との情報の共有、連携に努め、健康管理を行なっている。		

グループホーム舞風台 さくら

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>ご家族の希望により実施している。協力医療機関の医師とは様々な相談に乗っていただける関係である。</p>		
47	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>併設の老健と隣接しており、協力依頼により24時間連絡がとれる体制になっている。</p>		
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>同法人内の病院とはメールや電話での情報交換をおこなっており、必要に応じて面談もできる状況である。</p>		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時、終末期に対する意向を尋ね、持病をお持ちの入居者に関しては、かかりつけ医、ご家族と話し合いの上、決定している。</p>		<p>ご家族には、日中、夜間の状態を細かくお知らせし、痛みの軽減、訴えに対する対応について話し合いをしている。</p>
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>同上</p>		
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>ご家族の協力を得ながら、特に密に関わる様に注意し、職員間の情報の交換、共有に努めている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>1.その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>守秘義務、個人情報に関する同意書を作成し、入居者やご家族等に説明し了承を得ている。</p>	
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたりわかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたい納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>各入所者の担当者がご本人、ご家族と話し合いの場を持ち、介護計画更新時に改めて決定して行く様にしている。</p>	
54	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ご本人のご希望を優先し、見守り介護を行なっている。</p>	
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>通常は、月1回のペースで訪問理容の利用をしていただいているが、個人的に希望される方に関しては、ご家族同伴にて外出して行なわれている。</p>	
56	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者の状態に応じて食事形態を変えて対応している。全職員が同じ食事を食べながら見守り、介助、声掛けを行なっている。又、下準備や下膳ができる入居者には声を掛け、関わりを支援している。</p>	
57	<p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>嗜好品はご本人の希望があれば、ご家族に持参して頂き、楽しんで頂いている。</p>	

グループホーム舞風台 さくら

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄記録を基に、排泄パターンに合わせた個別対応をしている。下着、オムツ類の選択も職員間で話し合い、変更が必要であれば、実施している。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個人の希望にて対応している。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ベッドだけではなく、ソファ等での安眠確保を行なっている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食材の配達や下準備、畑の野菜の育て方等、本人が喜びを持って出来ることを把握し、実施している。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ショッピング、ドライブに出かけ、気に入られた物を購入して頂ける様、ご家族より預かり金を保管している。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	施設内の遊歩道を利用し、散歩を楽しまれ、休憩所での会話を楽しまれている。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している	各種花見学を実施している。遠方になる場合は、ご家族に依頼して促しを常に行なっている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人のご希望に応じて対応している。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会の制限は設けず、入所者居室にて面会もしくは、中央ダイルームに設置しているソファにて面会して頂いている。		
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており身体拘束をしないケアに取り組んでいる	併設する老健と連携し、「身体拘束廃止委員会」に参加し、身体拘束に関する学習、情報の収集に努め、グループホームでの情報提供、実施指導を行なっている。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており鍵をかけないケアに取り組んでいる	併設する老健と協同で、高リスク者、徘徊者リストを作成し、徘徊時に対応できるようにしている。		ユニットの出入り口に鈴をつけて、入退室の把握に努めている。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中、夜間を問わず、所在の把握に努めている。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご本人の危険度に応じて対応している。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故発生時にトラブルバスターズを作成し、対策を話し合い、再発防止に努めている。リスクの高い入居者に対しては、その都度、対策を立て直している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年に2回消防署の指導の下で、火災、救急時の対応等について訓練を行なっている。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回消防署の指導の下で、昼間、夜間の想定を行なって、避難訓練を行なっている。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	その都度、ご家族に説明し、話し合いながら、ご家族・入居者共に安心して生活できる様、対策を立てている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタル測定、記録の作成を毎日行うと共に、常時行動や顔色、表情を観察し、変化や異変の早期発見に努めている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の処方箋を個別にファイルし、服薬時の確認も確実に行なっている。医師と相談しながら薬剤の調節も行なっている。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	一人一人の排泄回数や形状のチェックを行なっている。適度な運動、水分の摂取を心がけている。		水分摂取量チェックを行い、常に摂取して頂ける環境を設定している。
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一人一人の状態に応じて口腔清潔保持に努めている。個々に応じた道具の選択、利用者の目につきやすい場所を設置している。		お茶うがいを実施している。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の記録、食事時の状態を観察を行なっている。個々に合った食器や自助具、食事形態も介護計画の際、本人と話し合っ決定し、提供している。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	併設する老健と協同で、「感染委員会」を設置し、毎月会議を行なっている。予防のポスター等の掲示、感染症に対するマニュアルをその都度作成している。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理時の手洗いの励行、調理器具の消毒の徹底を行い、冷蔵庫を週1回清掃することにより、食材の衛生管理を行なっている。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	近隣の方々も自由に施設内遊歩道を利用された散歩や、芝生の上での遊戯等に活用されている。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないよう配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとに室内装飾を変え、テーブルに花等を飾って楽しんで頂いている。庭の花畑に季節の花や野菜を植えて育てることにより、季節の味や香りを味わって頂いている。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テイルームにソファを設置し、食後の寛ぎの時間をスタッフも間に入りながら、居心地のよい場所づくりに努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭で使われていた家具、仏壇を持ち込んでもらっている。また、ご本人が家庭で使われていた食器類も使って頂いている。		
86	換気 空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室に空調設備があるため、それぞれの部屋でこまめに換気を実施している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	通路には手すりを設置しており、移動時に障害物がない様、環境整備を行なっている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレ、洗面所等の標示を行い、スムーズに行動、移動が出来る様に配慮している。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで活動できるように工夫している	スロープでスムーズに出入りが出来るようになっており、遊歩道での散歩、ユニット前の畑での活動や日光浴等を楽しんで頂いている。		

.サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の 2/3 くらいの	
		利用者の 1/3 くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の 2/3 くらいと	
		家族の 1/3 くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム舞風台 さくら

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くない
100	職員は、活き活きと働いている		ほぼ全ての職員が
			職員の 2/3 くらいが
			職員の 1/3 くらいが
			ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が
			利用者の 2/3 くらいが
			利用者の 1/3 くらいが
			ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族等が
			家族等の 2/3 くらいが
			家族等の 1/3 くらいが
			ほとんどできていない

【時に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

広川町が眼下に見渡せる高台の広大な敷地のなかに建設されたグループホーム舞風台は、春夏秋冬のそれぞれの季節が身近に感じられ、完全バリアフリーの施設から簡単に戸外に出ることができ、各ユニットの担当する畑を設け、季節の野菜や花々を作り、育成、収穫の喜びを味わってもらっている。施設内遊歩道からの眺めは、住み慣れた地域を見渡すことができ、安心して生活していただくことができる。近くには町立の保育園があり、定期的に園外保育としての訪問をして頂いている。園児たちが訪問して来た際には、必ず利用者との触れ合いをプログラムに入れて頂き、楽しんでもらっている。年間の行事も、誕生会、各種花見学、夏祭り、敬老会、運動会、クリスマス、忘年会、新年会と多彩であり、利用者の皆様に喜んで頂いている。老健も併設されており、医療連携も十分にとれており、安心して生活できる施設である。